

付属1 リスク評価(2段階評価)のスキーム

初期リスク評価

有害物ばく露作業報告

有害性情報の収集

ばく露実態調査
(ばく露実態の把握・
ばく露濃度の算定)

- ① 個人ばく露濃度
- ② A測定値
- ③ スポット測定値
- ④ TWA8hの算定

有害性評価書の作成
(ばく露限界値の算定)

- ① 一次評価値
- ② 二次評価値

一次と二次評価値の間の
ばく露濃度

二次評価値を超える
ばく露濃度

リスクの判定

一次評価値以下
のばく露濃度

現時点でリスクは
高くない(引続き適切に管理)

リスクは低い
(自主的対策の維持)

問題となるリスクを
確認(詳細評価へ移行)

詳細リスク評価

有害性情報の
追加収集

ばく露実態調査の
追加実施

(TWA8hの精度アップ)
[追加調査対象]
ばく露が高いと推定される作業、
少量取扱作業等

リスクレベル
の比較

二次評価値を超える
ばく露濃度

二次評価値以下
のばく露濃度

要因
解析

工程に
共通の
問題

特定事業
場の問題

工程に
共通の
問題

特定事業
場の問題

ばく露が無いと推定
される作業の特定す
る(モデル活用)

自主的対策
実施の指導

当該事業場の
問題を明確化し、
指導・監督に活用

リスクの高い作業に
ついてリスク低減
措置を検討